公安委員会説明資料
令和８年４月１５日
警務部監察官室

令和７年度第４四半期（１月～３月）の監察実施結果等について

項　　目	内　　容
実施結果	**1　総合監察** 第４四半期における実施署なし **2　随時監察** **(1)　実施数 74 か所**（警察署 11、本部執行隊 10、交番 18、駐在所 35） **(2)　指導等した事項**（現場において指導） ア　厳正な規律の保持・基本の徹底について　２件 イ　情報管理について　３件 ウ　拳銃・無線機の保管管理について　３件 エ　私的管理金の保管管理について　１件 **(3)　改善を求めた事項** なし
令和７年度対象別実施状況	**1　総合監察** 全 29 署のうち 14 署（令和７年９月から 12 月にかけて実施） **2　随時監察**

区分	本部	署	執行隊等	学校	交番等	駐在所	計
対象数	30	29	33	1	114	184	391
実施数	30	29	25	1	91	137	313
実施率（%）	100	100	75.8	100	79.8	74.5	80.1

＜過去５年間の実施状況の比較＞

区分	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
対象数	403	404	395	395	391
実施数	59	374	374	365	313
実施率（%）	14.6	92.6	94.7	92.4	80.1

公安委員会説明資料
令和８年４月15日
警務部監察官室

令和８年春の勲章伝達式について

項　　目	内　　容
叙勲の概要	警察官として奉職された方に対する「危険業務従事者叙勲」については、春と秋の年２回に分けて各都道府県警察主催で伝達式を行っているもの。
勲章種別及び受章者	第46回危険業務従事者叙勲（令和８年４月29日発令予定） ・　瑞宝双光章　～　22人 ・　瑞宝単光章　～　11人　　受章者は別紙のとおり
伝　達　式	○　日時 令和８年５月８日（金）午後３時00分から（概ね１時間） ○　場所 新潟県自治会館　１階　「講堂」 ○　式次第 １　開式の辞 ２　国歌斉唱 ３　勲記、勲章の伝達 ４　祝辞 ・　本部長 ・　公安委員会委員長 ・　警友会連合会会長 ５　閉式の辞 ○　主催者側参列者 本部長、各部長(情報通信部長除く。）、警察学校長、首席監察官 ○　来賓 公安委員会委員長、警友会連合会会長
そ　の　他	○　伝達式終了後、記念写真撮影を行う。

公安委員会説明資料
令和８年４月15日
地域部地域課

未把握世帯の解消等を目的とした実態把握推進月間の実施について

実施期間	令和８年５月１日（金）から５月31日（日）までの１か月間
活動重点	１　巡回連絡による未把握世帯の解消 ２　地域住民の意見要望等の把握と問題解決 ３　地域安全情報の積極的な発信
活動要領	１　体制の確立と計画的な巡回連絡の実施 交番所長等を推進責任者に指定のうえ、未把握世帯等を抽出するなどして進捗状況等を把握し、その解消に努めること。 ２　勤務例勤務の弾力的運用と転用勤務の抑制 勤務例勤務を基本としつつ、実情に応じて巡回連絡の実施時間帯を変更するなど、活動重点に沿って弾力的に運用すること。 また、活動時間を確保するため、転用勤務の抑制に配意すること。 ３　効果的な実態把握活動の推進 地域性や管内実態を考慮し、未把握世帯が少ない所管区の勤務員や同一所管区の勤務員を一時的に空き受持区にシフトするなど、効果的な実態把握活動を推進すること。 ４　巡回連絡時の対応 訪問した目的や巡回連絡の趣旨等を説明するとともに、言葉遣いや態度に配意するなど、適切な市民応接に努めること。 また、所管区広報紙、防犯広報チラシ、パトロールカード等を活用し、地域安全情報の積極的な発信に努めること。 ５　指導教養の徹底と巡回連絡技能指導員の活用 地域幹部は巡回連絡の目的、巡回連絡カードの作成、入手した個人情報の取扱い等に関して具体的な指導を実施するとともに、巡回連絡技能指導員は集合教養や同行指導を積極的に実施すること。
配意事項	１　巡回連絡カード亡失事案の絶無 巡回連絡を実施する場合は、持出し用バインダー、地域カバン等を使用し、巡回連絡カード亡失事案の絶無を期すこと。 ２　巡回連絡拒否世帯への対応 巡回連絡に理解を得られない場合は、巡回連絡の趣旨を丁寧に説明し、理解と協力が得られるよう努めること。ただし任意の活動であることから無理強いはしないこと。
賞揚	実績が優秀（良）な所属は賞揚する。

公安委員会説明資料
令和８年４月15日
地域部地域課

降雪期における山岳遭難の発生状況について

概　　要

令和７年度の降雪期（令和７年12月１日(月)から令和８年３月31日(火)までの４か月間）における山岳遭難の発生件数は36件、遭難者数は52人であった。

発生状況
（数値は警察認知）

【入山目的別発生状況】

入山目的	発生件数	遭難者数	死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	8(+3)	9(+4)	1(+1)	0(±0)	4(+2)	4(+1)
スキー登山	15(+8)	22(+13)	1(+1)	1(+1)	7(+4)	13(+7)
スキー	13(−4)	21(−1)	1(±0)	0(±0)	1(±0)	19(−1)
その他	0(−2)	0(−2)	0(−1)	0(±0)	0(±0)	0(−1)
合計	36(+5)	52(+14)	3(+1)	1(+1)	12(+6)	36(+6)

※括弧内は前年同期間比(令和６年12月１日～令和７年３月31日)
※登　　山…冬山登山でスキー等による滑走を伴わないもの
　スキー登山…バックカントリースキーを目的とした登山
　スキー…スキー場客が立入禁止区域や管理区域外で滑走する行為

【特徴】
１　年代別遭難者数
　10歳未満　１人、10歳代　１人、20歳代　10人、30歳代　18人
　40歳代　５人、50歳代　６人、60歳代　６人、70歳代　２人
　80歳代　３人
２　国籍別遭難者数
　(1) 日本人　30人（県内居住者８人、県外居住者22人）
　(2) 外国人　22人（52人中）
　　中国11人、米国５人、カナダ３人、豪州２人、英国１人
　※　外国人遭難者数の推移
　　令和６年度　13人（38人中）、令和５年度　８人（28人中）
３　態様別遭難者数
　道迷い31人、転倒７人、滑落６人、転落３人、病気２人、疲労１人
　不明２人

過去５年間の発生状況
（数値は警察認知）

別添資料参照

資料

【令和７年 12 月１日から令和８年３月 31 日までの４か月間】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	8	9	1	0	4	4
スキー登山	15	22	1	1	7	13
スキー	13	21	1	0	1	19
その他	0	0	0	0	0	0
合計	36	52	3	1	12	36

【令和６年 12 月１日から令和７年３月 31 日までの４か月間】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	5	5	0	0	2	3
スキー登山	7	9	0	0	3	6
スキー	17	22	1	0	1	20
その他	2	2	1	0	0	1
合計	31	38	2	0	6	30

【令和５年 12 月１日から令和６年３月 31 日までの４か月間】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	3	3	2	0	1	0
スキー登山	8	9	2	0	1	6
スキー	10	16	1	0	2	13
その他	0	0	0	0	0	0
合計	21	28	5	0	4	19

【令和４年 12 月１日から令和５年３月 31 日までの４か月間】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	4	6	1	0	0	5
スキー登山	7	14	0	0	4	10
スキー	10	11	0	0	2	9
その他	2	3	1	0	0	2
合計	23	34	2	0	6	26

【令和３年 12 月１日から令和４年３月 31 日までの４か月間】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	5	5	2	0	1	2
スキー登山	6	7	1	0	2	4
スキー	4	6	0	0	0	6
その他	1	1	1	0	0	0
合計	16	19	4	0	3	12

公安委員会説明資料
令和８年４月15日
地域部地域課

春の連休期間中における山岳遭難防止対策の推進について

目的

春の連休期間中には多くの山菜採りが入山し、山岳遭難の多発が懸念されることから、昨年の発生状況を広報するとともに、各種山岳遭難防止対策を推進するもの。

推進期間

令和８年４月25日（土）から５月６日（水）までの12日間

昨年同期間中の発生状況
（数値は警察認知）

【入山目的別発生状況】

令和７年４月26日（土）から５月６日（火）までの11日間

入山目的	発生件数	遭難者数	（内訳）			
			死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	3	3	0	0	3	0
山菜採り	2	2	0	0	1	1
その他	1	1	0	0	0	1
合計	6	6	0	0	4	2

【特徴】

1　年代別遭難者数
　50歳代２人、60歳代１人、70歳代３人
　65歳以上が４人で、全体の約７割を占めた（平均年齢は66.5歳）
2　居住地別遭難者数
　県内居住者　３人（登山１人、山菜取り２人）
　県外居住者　３人（登山２人、その他１人）
3　態様別遭難者数
　滑落　　４人（登山３人、山菜採り１人）
　道迷い　２人（山菜採り１人、その他１人）

推進事項

1　山岳実態の把握と関係機関との情報共有
2　山岳遭難防止の広報啓発活動
3　遭難発生時の迅速・的確な対応

県民への注意事項

1　天候や地形等に関する情報収集に加え、登山計画書の提出及び家族等に行き先を告げて入山する。
2　有事に備え、携帯電話、モバイルバッテリー、飲食料、ライト、ホイッスル、クマ鈴等を携行する。
3　春でも麓の山には雪が残っていることから滑落、雪崩等に注意する。
4　山菜採りをする際は、急斜面や足場の悪い危険な場所を避けるとともに、可能な限り単独行動を控える。

過去５年間の発生状況
（数値は警察認知）

別添資料参照

資料

【令和７年４月 26 日から５月６日（11 日間）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	3	3	0	0	3	0
山菜採り	2	2	0	0	1	1
その他	1	1	0	0	0	1
合計	6	6	0	0	4	2

【令和６年４月 27 日から５月６日（10 日間）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	0	0	0	0	0	0
山菜採り	4	4	0	0	1	3
その他	1	1	0	0	0	1
合計	5	5	0	0	1	4

【令和５年４月 29 日から５月７日（９日間）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	4	4	0	0	1	3
山菜採り	4	4	0	0	2	2
その他	1	1	0	0	0	1
合計	9	9	0	0	3	6

【令和４年４月 29 日から５月８日（10 日間）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	3	3	0	0	3	0
山菜採り	4	4	1	1	1	1
その他	0	0	0	0	0	0
合計	7	7	1	1	4	1

【令和３年４月 29 日から５月９日（11 日間）】

入山目的	発生件数	遭難者数	内訳 死者	行方不明者	負傷者	無事救出者
登山	4	5	1	0	0	4
山菜採り	9	9	3	1	0	5
その他	3	4	0	0	1	3
合計	16	18	4	1	1	12

公安委員会説明資料
令和８年４月15日
刑事部捜査第二課

第23回新潟県知事選挙違反取締りに向けた取組について

選挙日程	1　告示日 令和８年５月14日（木） 2　投票日 令和８年５月31日（日）
今後の取組	1　事前運動取締準備室の設置 令和８年４月20日（月） 警察本部201会議室 2　臨時刑事官・刑事課長等会議の開催 令和８年４月28日（火） 県庁西回廊講堂 3　選挙違反取締本部の設置 ⑴　設置日 令和８年４月30日（木） ⑵　取締体制 ○　本部　本部長を長とする125人体制。 ○　署　警察本部に準じ、署長を長とする取締本部を設置。
その他	○　報道発表 ４月30日（木）の違反取締本部設置に際して報道発表を実施予定。